

北陸地方建設事業推進協議会

令和3年度

建設技術報告会

実施報告書

令和4年2月

北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」実行委員会

目 次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 経緯	1
3) 主催構成機関及び実行委員会構成員	1
4) 聴講者数及び聴講者数の推移	2
2. 実施内容	
1) 報告課題	4
2) オンデマンド配信による報文発表の概要	4
3) CPD及びCPDSの受講証明書発行	7
3. 準備・運営	
1) スケジュール	8
2) 会議等の配置	8
4. 広報	
1) 広報活動	8
2) 広報等掲載一覧	8
5. アンケート	
1) 回収状況	12
2) 設問	12
3) 主な意見	13

1. 開催概要

1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催しました。

平成7年度から開催されている本報告会は、今回で26回目の開催となりました。

2) 経緯

本報告会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き非集合方式としてオンデマンド配信にて開催することとしました。これに伴い、従来の集合方式で行っていた、技術パネルの展示やパンフレットの配布等は実施しないこととしました。

(1) 報告技術の応募

令和3年7月7日～8月3日までの間において報告技術を募集しました。応募のあった各技術について、事務局にて採否（案）を作成し8月末に実行委員より承諾を得ました。

(2) 報告技術

本報告会の報告技術は30課題を予定していましたが、民間企業からの応募が18課題、北陸地方整備局から4課題の合計22課題を報告することとしました。

22課題のうち、プレゼンテーション発表を行うとともに北陸技術事務所のホームページ（建設技術報告会）及びオンデマンド配信サイトに報告論文を掲載する「発表課題」を21課題、北陸技術事務所のホームページ及びオンデマンド配信サイトに論文掲載のみとなる「掲載課題」を1課題としました。

なお、応募者および応募者が所属する主催構成機関の意向により、1課題を「掲載課題」にすることとしました。

3) 主催構成機関及び実行委員会構成員

■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会』です。
実行委員会の構成機関は、以下の23機関です。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部
(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部
(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部
北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター
北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会
(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

■実行委員会構成員

役 員	所 属	役 職	備 考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委 員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委 員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委 員	新潟県 土木部 技術管理課	工事検査室長	会計監査
委 員	富山県 土木部 建設技術企画課	副主任 技術指導係長	
委 員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	担当課長	
委 員	新潟市 都市政策部 技術管理課	課長	
委 員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委 員	中日本高速道路(株)金沢支社 環境・技術管理部 環境・技術課	課長	
委 員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委 員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委 員	(一社)新潟県建設業協会	事業部第二部長	
委 員	(一社)富山県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)建設コンサルタント協会 北陸支部	広報委員長	
委 員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委 員	(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委 員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	事務局長	
委 員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委 員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委 員	(一財)新潟県建設技術センター	企画調査部長	
委 員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委 員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委 員	(一社)北陸地域づくり協会	企画事業部長	
委 員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

4) 聴講者数及び聴講者数の推移

■聴講者数

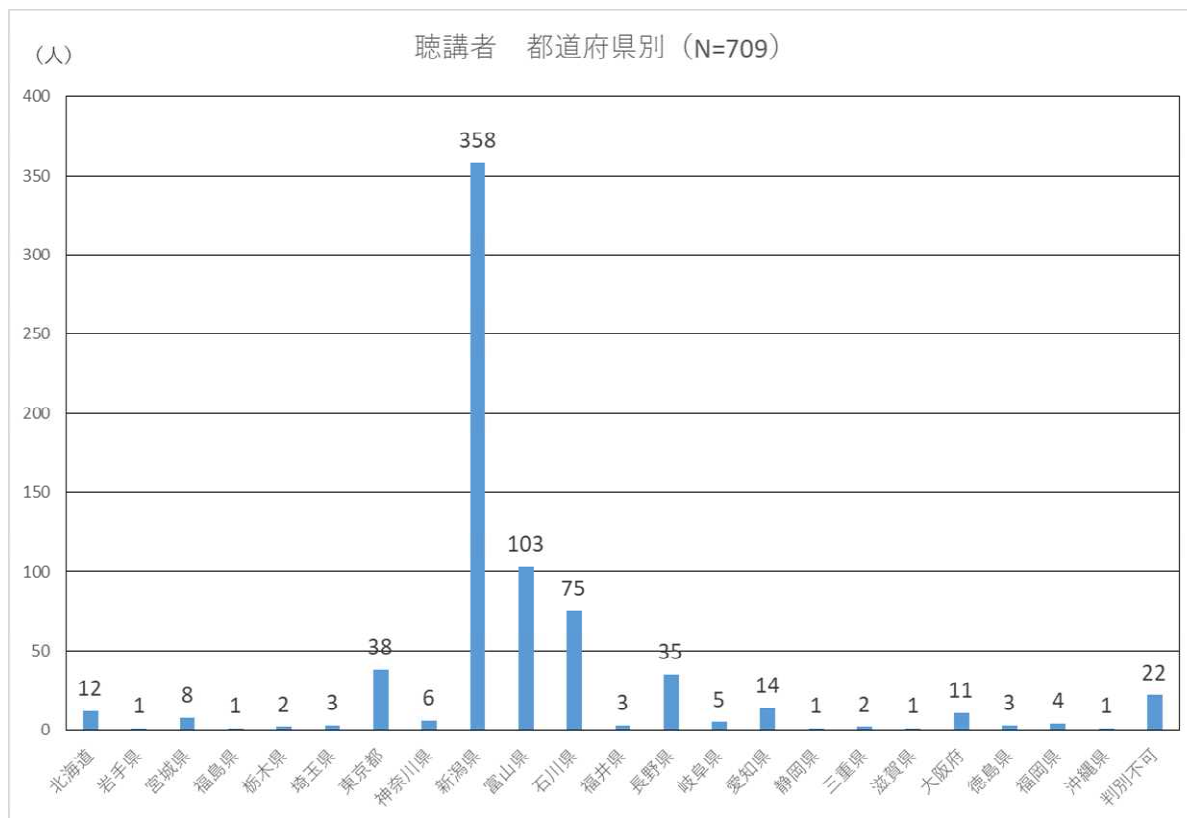
オンデマンド配信として、聴講者募集を令和3年12月2日から令和4年1月11日まで行い、合計824名の募集がありました。昨年度の募集定員500名を超えたものの残念ながら、本年度の募集定員2000名に達することができませんでした。

本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりでした。

【令和3年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

オンデマンド配信

機関・団体名		申込	実績
官公庁	国交省、各県、新潟市、各市町村他	25	14
民間	(個人含む)	799	695
合計		824	709



■聴講者数の推移

【「建設技術報告会」聴講者数（第1回～第25回）】

開催年	1995年(第1回)	1996年(第2回)	1997年(第3回)	1998年(第4回)	2000年(第5回)
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市
発表数	14	26	34	24	29
聴講数	267	643	658	429	533

開催年	2001年(第6回)	2002年(第7回)	2003年(第8回)	2004年(第9回)	2005年(第10回)
開催地	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
発表数	33	31	32	32	39
聴講数	579	636	511	478	458

開催年	2006年(第11回)	2007年(第12回)	2008年(第13回)	2009年(第14回)	2010年(第15回)
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市
発表数	38	33	32	36	34
聴講数	341	378	461	413	551

開催年	2011年(第16回)	2012年(第17回)	2013年(第18回)	2014年(第19回)	2015年(第20回)
開催地	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
発表数	32	36	32	37	31
聴講数	502	501	571	443	524

開催年	2016年(第21回)	2017年(第22回)	2018年(第23回)	2019年(第24回)	2020年(第25回)
開催地	金沢市	新潟市	金沢市	富山市	オンデマンド配信
発表数	31	32	16	25	13
聴講数	457	456	394	764(延べ)	408

※第24回は2日間延べ参加者数である。

2. 実施内容

1) 報告課題

全22課題について、北陸技術事務所のホームページおよびオンデマンド配信サイトに報告論文を掲載しました。

また、発表課題（オンデマンド配信）として、21課題の発表を実施しました。

テーマ	技術名	所属	発表者
①	大河津分水路改修(令和の大改修)における新しい監督・検査のあり方について	国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所	山根 恭子
①	舗装修繕工の活用に向けたMMSの精度向上と生産性向上2つの取り組み	福田道路株式会社	北添 慎吾
①	完全自動鋼製支保工建込みロボットの開発	前田建設工業株式会社	達 亮太
②	テープ状の排水装置(タフシャット導水テープ)の開発	東亜道路工業株式会社	新井 崇史
②	積雪寒冷地に適した高耐久常温アスファルト混合物の開発	世紀東急工業株式会社	小柴 朋宏
②	防水性能を有した橋面アスファルト舗装の開発	東亜道路工業株式会社	麻上 淳平
③	ICT 活用による除雪トラック作業装置自動化の取り組みについて	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所	武石 清一
①	ICT無人バックホウによる大型ブロック積み砂防堰堤の施工に関する実証実験について	国土交通省 北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所	漢野 正典
①	砂防CIM の取組	佐藤工業株式会社	京免 継彦
①	既存施設を活用した岸壁改良工事の課題と対処	国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所	谷澤 来夢
①	高性能水中位置管理機能搭載ブロック据付支援システム WIT B-Fix Neo	若築建設株式会社	土屋 洋
①	パイプライン敷設工事における3Dモデルの導入効果について	株式会社本間組	神蔵 昌士
②	供用中の栈橋を効率的に補強するRe-Pier(リピア)工法	あおみ建設株式会社	吉原 到
①	地盤改良工事の見える化技術Gi-CIM の開発	五洋建設株式会社	堤 彩人
①	山岳トンネル工事を対象とした自動化施工システムの開発	鹿島建設株式会社	高橋 公城
①	未来の建設生産システムの構築に向けて	清水建設株式会社	佐久間 清文
①	遠隔臨場ドローンシステム	株式会社フジタ	林 秀晃
③	豪雪地域における積雪を考慮したクローズド型廃棄物最終処分場	株式会社福田組	小林 正利
④	超硬質地盤に対応した低変位深層混合処理 CI-CMC-HG工法	株式会社不動テトラ	古庄 哲士
⑤	カーボンリサイクル・コンクリートの開発	大成建設株式会社	大脇 英司
⑥	軟弱地盤調査の効率化を目指した原位置地盤試験機の開発	東亜建設工業株式会社	夏坂 亮太
⑥	『送出しを変える』パンタグラフ式手延機の開発 ※掲載課題	川田工業株式会社	大井 祥之

- | | |
|---|-----------------|
| ①i-Construction による生産性向上、インフラ分野の DX (12題) | |
| ②社会資本の的確な維持管理・更新 (4題) | ③雪に強い地域づくり (2題) |
| ④自然災害からの安全確保 (1題) | ⑤環境の保全と創造 (1題) |
| ⑥その他 (2題) | |

2) オンデマンド配信による報文発表の概要

■開催日

令和4年1月12日(水)～25日(火)

■聴講時間帯

開催期間のうち、土日を除く 0:00～23:59

■聴講募集期間

令和3年12月2日（木）～ 令和4年1月11日（火）

■募集定員

2000名

■配信システムの機能

- ・聴講申込み、受付、受講、CPD及びCPDSの受講証明書発行までの一連の手続きを自動で行える機能を有するシステムを昨年度構築し、本年度も同システムを使用しました。
- ・CPDS受講証明書の自動発行に関して、報告技術の早送り等の実施不可、ログ時間の管理、設問の設定、再視聴サイトの構築など昨年度構築した機能も引き続き採用しました。

■昨年度構築した配信システムの改善・改良点

昨年度よりシステムを改善・改良した点については、以下の表のとおりです。

改善・改良点	令和2年度	令和3年度
開催期間の拡大	5日間	10日間（土日除く）
視聴日の拡大	選択した1日のみ	開催期間中いつでも視聴可能
再視聴機能の追加	なし	当該動画を最後まで視聴後、再度当該動画の再視聴が可能
早送り・巻き戻し・一時停止機能の追加	なし	当該動画を最後まで視聴後、早送り・巻き戻し・一時停止機能を表示
質問機能の追加	なし	当該動画を視聴後に発表者へ質問が可能（全動画を視聴後にも質問可）
動画の視聴不良解消	なし	聴講申込時にサンプル動画を視聴させ、通信環境のテストを行う
報文資料の配布	北陸技術事務所 HP へ掲載	北陸技術事務所 HP に加え、オンデマンド配信サイトにも掲載
登録時のメールアドレス入力ミス回避	聴講申込時、必要情報を全て入力	聴講申込時、メールアドレスのみを先行入力させ、システムより配信されたメールに申込アドレス、必要事項を記入
アンケートや設問回答中に”戻る”や”閉じる”ボタンを押した際の対応	なし	警告画面を出す
タブレット等での早送り、スキップの制御	早送り不可（不正早送り1名確認）	当該動画の再生時間分だけサイトに留まっていないと次動画へ移動不可
受講証明書の発行	各日	CPD は視聴完了日に発行 CPDS は配信終了後に発行

■配信した課題数と総再生時間数

21技術・4時間35分

■技術報告ビデオ作成要領

オンデマンド配信による課題発表に伴い、事務局が作成した「技術報告ビデオ作成要領」に基づいて制作した動画（MPG）を発表者から提出していただきました。

3) CPD及びCPDSの受講証明書発行

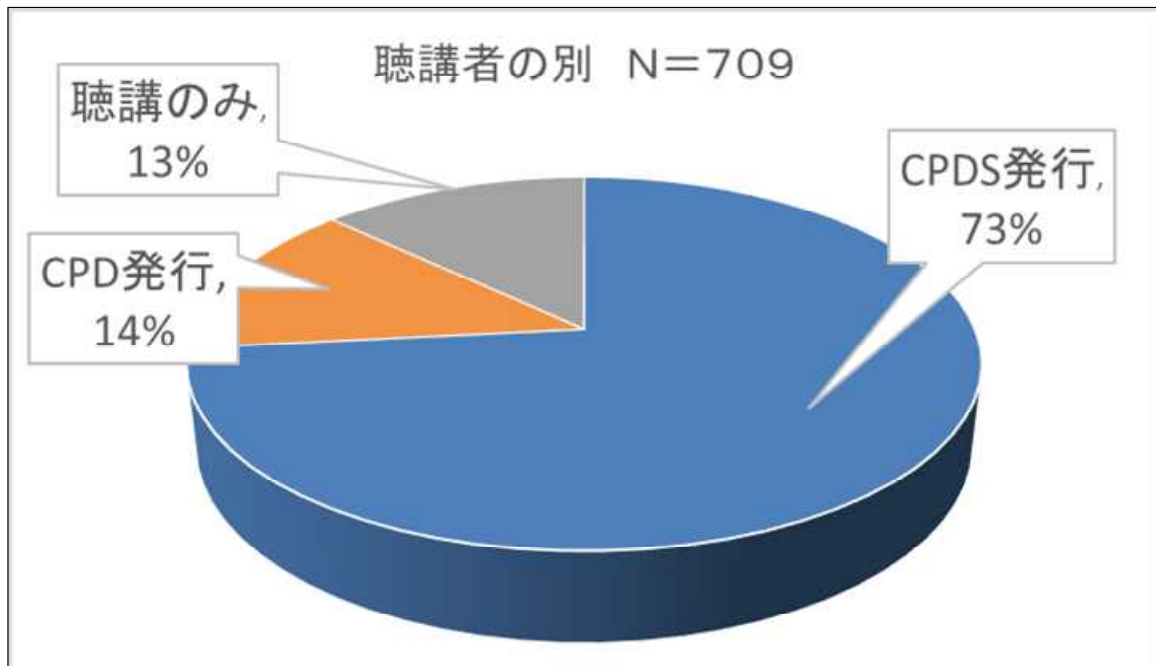
CPDおよびCPDSの受講証明書は、聴講者全体の約87%（617/709名）に発行しました。

■CPDS

（一社）全国土木施工管理技士会連合会の認定プログラムとして、「インターネット学習プログラム」の5ユニットの登録を行い、520名に受講証明書を発行しました。

■CPD

参加実時間数を4.58時間として、受講者がCPD機関に申請するための受講証明書を97名に発行しました。



20-B/20-C

証明書発行日: 2022年01月13日

**Web講習（録画配信・eラーニング）
受講証明書**

受講・参加者氏名	
所属会社等	
建設系CPD協議会 プログラム認定団体	—
プログラム番号	—
プログラム名	令和3年度 建設技術報告会(Web)【録画】
主催者・共催者	令和3年度 建設技術報告会 実行委員会 (事務局: 国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所)
視聴日	2022年01月13日
視聴実時間	4.58

上記内容で、
Web講習（録画配信・eラーニング）を受講したことを証明いたします。

令和3年度 建設技術報告会 実行委員会
実行委員長 遠藤 正樹
(国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所長)

CPD受講証明書

受講証明書

受講者名 又は 通し番号		
プログラム名称	令和3年度 建設技術報告会【オンデマンド配信】【Web】	
プログラム番号	683818	
ユニット数	形態コード 403 *	5 ユニット
	合計 5 ユニット	
講習日・時間	2022-01-26	
講習会場		

「*」は年間取得ユニットに上限があります。
ユニット取得状況は（一社）全国土木施工管理技士会連合会HP(<https://www.cjcm.or.jp/>)ログイン後に確認できます。

上記の者について、講習会を受講したことを証明します。

2022年 1月 26日

主催: 令和3年度建設技術報告会 実行委員会
実行委員長 遠藤 正樹
(国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所長)

CPDS受講証明書

3. 準備・運営

1) スケジュール

令和3年度「建設技術報告会」の運営は、別紙「令和3年度 建設技術報告会」運営スケジュール」のとおり実施しました。

2) 会議等の配置

令和3年度「建設技術報告会」に関して開催された会議等は以下のとおりです。

会 議 名 等	実施日時	会 場	内 容
令和2年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	令和3年3月10日（水）	書面開催	令和3年度「建設技術報告会」 の開催決定
令和3年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	令和3年6月23日（水） ～ 同年6月30日（水）	書面開催	令和2年度 決算報告 規約（案）の協議・承認 実施計画（案）の協議・承認 予算（案）の協議・承認
令和3年度「建設技術報告会」開催	令和4年1月12日（水） ～ 同年1月25日（火）	オンデマンド配信	報告会開催
令和3年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	令和4年2月9日（水） ～ 同年2月17日（木）	書面開催	実施報告（案） 収支決算報告書（案） 次回開催（案）

4. 広報

1) 広報活動

種別・内容	方 法	時 期	摘 要
記者クラブ 新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ 富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ その他・専門紙	資料配付	令和3年12月9日 令和4年 1月5日	聴講者募集 開催案内
ホームページ 北陸技術事務所 各主催機関・団体	開設・運用	令和3年7月7日～ 令和3年12月2日～ 令和4年1月5日～ 適宜	報告技術募集 聴講者募集 開催案内 バナー掲載

2) 広報等掲載一覧

■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
建設通信新聞	株式会社日刊建設通信新聞社	令和3年12月15日

■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	7月号（報告技術募集） 11月号（聴講者募集） 3月号予定（開催結果）

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
新潟県土木部技術管理課	「トップ（バナー掲載）」
富山県土木部建設技術企画課	「とやま建設業の広場 ピックアップ（バナー掲載）」
（一社）石川県建設業協会	「トップ（バナー掲載）」
（一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部	「トップ（バナー掲載）」
（一社）日本建設機械施工協会北陸支部	「トップ（バナー掲載）」
（一社）北陸土木コンクリート製品技術協会	「トップ（バナー掲載）」
（一社）新潟県融雪技術協会	「トップ（バナー掲載）」
（一社）北陸地域づくり協会	「トップ（バナー掲載）」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ（バナー掲載）」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ（バナー掲載）」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ（バナー掲載）」

※引き続きHPでの広報にご協力をお願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

記者発表

聴講者募集のお知らせ（令和3年12月9日）



国土交通省 北陸地方整備局
北陸技術事務所

配付日時 令和3年12月9日

級 い 本紙配付を以て解禁

資料配付

令和3年度建設技術報告会の聴講者を募集しています！

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において研究開発された新技術・新工法等の報告会を毎年開催しており、今回で26回目となります。新型コロナウイルス感染拡大防止を受け昨年度に続き、オンデマンド配信による開催となります。

1. 開催期間
令和4年1月12日(水)～令和4年1月25日(火)
【土日を除く10日間】

2. 聴講申込期間
令和3年12月2日(木)～令和4年1月11日(火)

3. 定員
2,000名

4. 聴講料
無料

5. 報告技術
22技術(オンデマンド配信21技術)

6. その他
(一社)全国土木施工管理技士連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム対象です。
また、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。
【CPDS:5ユニット CPD:4.58時間】

申込状況(12.8 11:00時点)
残り約 1,550 名

○聴講申込サイト
<https://kensetsu-houkokukai.info>

○北陸技術事務所ホームページ
<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/mijika/tecbox/936/>

同時発表記者クラブ	お問い合わせ先
新潟県政記者クラブ	北陸地方建設事業推進協議会
新潟県政記者クラブ	令和3年度「建設技術報告会」実行委員会事務局
富山県政記者クラブ	(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所)
石川県政記者クラブ	TEL: 025-231-1281 (代表)
その他・専門誌	副所長 浦澤 克己(内線205)

令和3年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

建設技術報告会

開催期間
令和4年
1月12日～25日
【水 火】
オンデマンド配信

～建設分野に関する新技術・新工法などを発表します～

聴講者募集

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、昨年度に引き続き、**オンデマンド配信にて実施**します。

令和3年 令和4年
募集期間 12月2日～1月11日

募集定員 2,000名

聴講無料

(一社)全国土木施工管理技士連合会の継続学習制度(CPDS)認定プログラム対象です。また、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。【CPDS:5ユニット CPD:4.58時間】

主催：北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
富山県高尾道(特)新潟支社／中日本高尾道(特)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本建設業連合会北陸支部
(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC協会／(一社)新潟県建設業協会
(一社)建設業設計技術センター／北陸地質調査協会／(一社)日本建築立派協会北陸支部
(一社)北陸地場づくり協会／(一社)日本建築建設協会北陸事務所

申込はこちら <https://kensetsu-houkokukai.info>

詳細は、上記ウェブサイトをご覧ください。

北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会
問い合わせ先 (国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 〒950-1104 新潟市西区山田2310番地5 担当：技術情報管理官(新技術)
TEL 025-231-1281 FAX 025-231-1283 E-mail hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」WEB開催 プログラム				
◆発表課題(区分/テーマ)				
区分	テーマ	発表者	所属	発表時間(分)
共通	① 大規模土木構造物(大型の大型橋)における新しい「監査」機能の活用について	山崎 昌子	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	12:35
共通	② 建築現場の活用に向けた BIM の活用と上乗せ性向上 2 つの取組	北原 博司	建設建設株式会社	13:37
共通	③ 安全監視装置の活用と建設現場の安全確保	遠 亮太	建設建設株式会社	09:04
共通	④ 大規模土木構造物(大型橋)の活用	新井 俊彦	建設建設株式会社	14:06
共通	⑤ 建設現場に導入した最新のデジタル技術の活用	小泉 剛志	建設建設株式会社	09:39
共通	⑥ 土木現場に導入した最新のデジタル技術の活用	岸上 洋平	建設建設株式会社	14:32
共通	⑦ ICT活用による建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	14:15
共通	⑧ ICT活用による建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	12:12
共通	⑨ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	13:48
共通	⑩ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	11:41
共通	⑪ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	13:57
共通	⑫ バイパス建設現場における3Dモデルの活用と効果について	神蔵 昌子	株式会社神蔵昌子	14:58
共通	⑬ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	14:41
共通	⑭ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	14:49
共通	⑮ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	12:07
共通	⑯ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	12:11
共通	⑰ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	12:08
共通	⑱ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	13:31
共通	⑲ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	14:29
共通	⑳ カーシェアリング・コンクリートの活用	大塚 英司	大塚建設株式会社	15:11
共通	㉑ 建設現場の安全確保と生産性の向上	北原 博司	国土交通省 北陸地方整備局 道路局土木事業課	11:31
◆掲載課題				
区分	テーマ	発表者	所属	発表時間(分)
共通	① 「建設現場の安全確保と生産性の向上」の活用	大井 裕之	建設建設株式会社	—
テーマ ① 「建設現場の安全確保と生産性の向上」の活用 ② 建設現場の安全確保と生産性の向上 ③ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ④ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑤ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑥ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑦ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑧ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑨ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑩ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑪ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑫ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑬ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑭ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑮ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑯ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑰ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑱ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑲ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ⑳ 建設現場の安全確保と生産性の向上 ㉑ 建設現場の安全確保と生産性の向上				

◆開催案内（令和4年1月5日）

国土交通省 建設地方技術局

北陸技術事務所

資 料 配 付

扱い：配付を以て解禁

令和4年1月5日

官民における最新の建設技術を報告 建設技術報告会 1月12日～25日にオンデマンド配信

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において研究開発された新技術・新工法等の報告会を毎年開催しており、今回で26回目となります。

今年度の開催は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策として、Webにて配信します。

本報告会では、官民で研究開発された最新の建設技術のWebオンデマンド配信(21技術)を行います。懇談にあたり、事前登録が必要となります。まだ空きがありますので、是非事前登録を行った上で、ご参加頂きますようお願いいたします。

聴講申込はこちら <https://kensetsu-houkokukai.info/>

2. 事業概要

- ・山麓部の掘削
- ・橋本路整備
- ・野積地の駆け替え
- ・第三沢川の改修

(参考) Web オンデマンド配信の状況

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ(新潟)
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
各報等門限

お問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会
令和3年度「建設技術報告会」実行委員会事務局
(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所)
副所長(機械) 清澤 克己
電話025-231-1281(代表) 内線205

令和3年度 建設分野の新技術・新工法の報告会

建設技術 報告会

開催期間

令和 4 年

1 月 12 日 ~ 25 日

水 火

オンデマンド配信

～建設分野に関する新技術・新工夫などを発表します～

聴講者募集

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、昨年度に引き続き、
オンデマンド配信にて実施します。

令和 3 年

募集期間

募集定員

令和 4 年

12 月 2 日 ~ 1 月 11 日

2,000 名

聴講
無料

主催：北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
 東北日本高速道路（株）新潟支社／中日本高速道路（株）富山支社
 （一社）日本建設業協会北陸支部／（一社）日本建築建設業協会北陸支部
 （一社）新潟県建設業協会／（一社）富山県建設業協会／（一社）石川県建設業協会
 （一社）建設コ・オプレーション富山北陸支部／（一社）日本建設機械工業協会北陸支部／（一社）建設業共創センター北陸／（一社）新潟県建築事務所協会
 （一社）建設技術研修センター／北陸地質調査協会／（一社）日本建築士協会北陸支部
 （一社）北陸地建研／（一社）日本建築建設業協会北陸支部

申込は

こちら

<https://kensetsu-houkokukai.info>

お問い合わせ先

（国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務局 〒950-1101 新潟市西区山田231-6 4 階） 技術情報管理室（新技術）

TEL 025-231-1281 FAX 025-231-1283 E-mail hokugi-info@hrr.mti.go.jp

経理課、上記ウェブサイトをご覧ください。

北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」WEB開催プログラム						
◆発表課題(区分/テーマ)						
区分	テーマ	報告技術名	発表者	所属	発表時間 (分)	
共通	①	大河津分排水路(令和の大改修)における耐震・耐風・耐塩の強化について	山根 昌子	国土交通省 国土総合整備局 建設技術調査室	12:35	
共通	②	建築等構工法の活用に向けた BIM の活用状況と生産性向上 2 つの取組み	北畠 慎吾	富田建設株式会社	13:07	
共通	③	災害発生時避難支援工法建設における AI の開発	高木 浩志	西宮建設工業株式会社	09:04	
共通	④	テーマ別の社会実装(フロントロードテーマ)の開発	新井 幸史	株式会社工業株式会社	1:04	
共通	⑤	検査車走行に誘引される耐久型道路アスファルト混合物の開発	小坂 川広	北日本建設工業株式会社	09:59	
共通	⑥	治水期間短くし水質改善アスファルト舗装の開発	森上 淳史	東海建設工業株式会社	14:15	
共通	⑦	ICT活用による都市・シビック空間資源最適化の取組みについて	沢村 浩一	国土交通省 国土総合整備局 北陸建設管理課	16:30	
砂防	⑧	砂防工場の自動化による大規模ブロック積み自動搬送の施工に関する取組実績について	深澤 正典	国土交通省 北陸総合整備局 砂防治水対策推進課	12:12	
砂防	⑨	9 号砂防の取組	京島 康彦	佐賀工業株式会社	13:48	
港湾	⑩	港湾施設を活用した学童急ぎ上陸への課題の検討	田中 清次	国土交通省 北陸地方整備局 伊予川島実業事務所	11:47	
港湾	⑪	集約化水位位置管理機能搭載ブロック型貯留システム With B-Flow Neo	谷澤 洋平	事業建設株式会社	13:51	
港湾	⑫	パイプヤード搬送工事における3Dモデルを用いた効率化について	藤原 昌志	株式会社大野鋼	14:58	
港湾	⑬	供出中の特種な保管管理システム導入の事例	吉澤 明	あふん建設株式会社	14:41	
港湾	⑭	地盤改良工事の見える化技術-GM の取組	池 聖人	株式会社大野鋼	16:40	
港湾	⑮	山岸システム工事を対象とした自動化化システムの開発	高橋 弘成	東海建設株式会社	12:07	
港湾	⑯	水素の製造運送システムの開発について	松久川 清次	清水建設株式会社	12:11	
港湾	⑰	遠隔監視・コントロールシステム	林 秀晃	株式会社フジック	12:09	
港湾	⑱	事業性船舶における喫水管理をクラウド型データベース連携構築	小林 正利	株式会社佳田組	13:31	
港湾	⑲	超高度地盤に付いた高度変位管理用巻尺型 G-CMC の応用	常盤 賢史	株式会社平野テック	14:29	
港湾	⑳	クラウド型BIMの活用・コンクリートの開発	大島 大司	大島建設株式会社	15:11	
港湾	㉑	数値的調査結果の活用を前提とした居住型施設建設移転の開発	荒澤 夏実	東海建設工業株式会社	11:31	
◆掲載課題						
区分	テーマ	掲載 番号	報告技術名	発表者	所属	発表時間 (分)
共通	①	1	「活断層をええええ」シミュレーション手法の検証の開発	大井 邦之	日研工業株式会社	—
テーマ						
① Infrastructure の生産性向上、インフラ計画の可視化						
② 社会基盤の効率的維持管理・更新						
③ 国土・地域づくり						
④ 社会基盤の安全確保						
⑤ 環境の保全と創出						
⑥ その他						

5. アンケート

次回以降開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施しました。

1) 回収状況

アンケートは、報告技術の聴講終了後にWeb画面に表示されるアンケート欄に記述する形式で行いました。アンケート回収率は97.3%となりました。



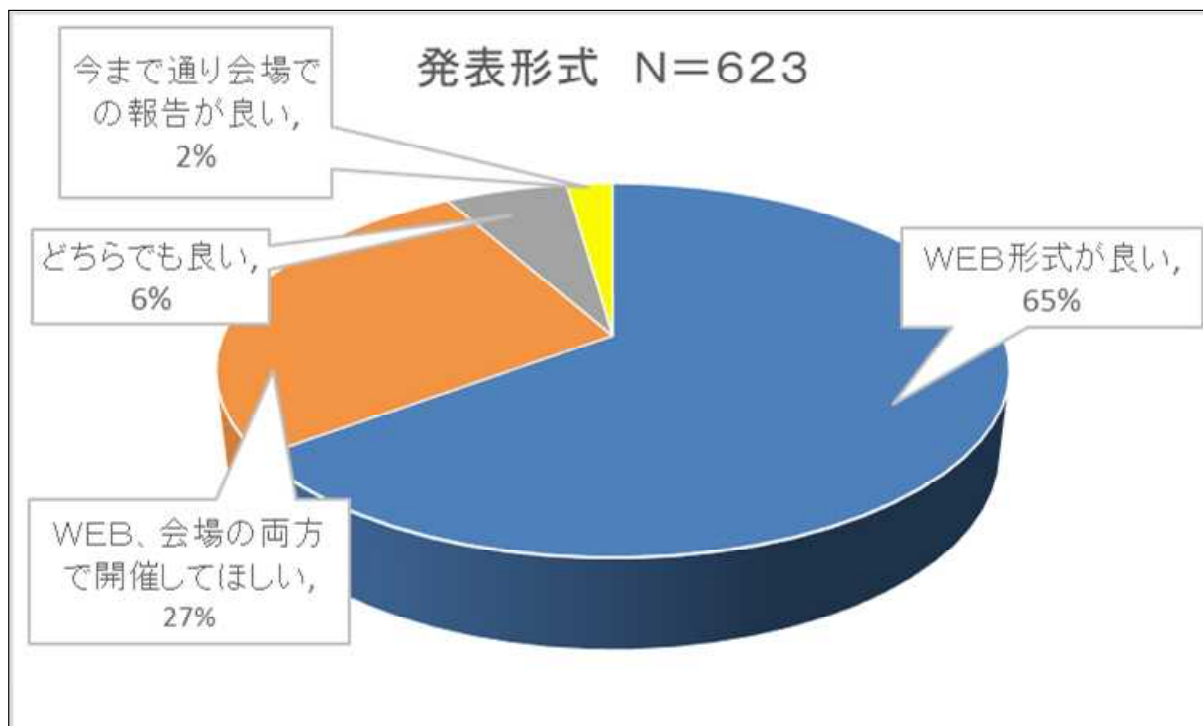
【アンケート配布・回収結果】

	官公庁	民間	計
配布数	8	632	640
回答数	7	616	623
回収率	87.5%	97.5%	97.3%

2) 設問

今後の発表形式について選択してください

- ・WEB形式が良い
- ・今まで通り会場での報告が良い
- ・WEB、会場の両方で開催してほしい
- ・どちらでも良い



3) 主な意見

【オンデマンド開催について】

- ・ WEB 形式はコロナ感染リスクや会場までの移動、交通機関に左右されることなく安全に視聴ができるため、良いと感じた。
- ・ 個人の都合に合わせて聴講の時間を自由に調整できるため、WEB 形式の方が参加しやすい。
- ・ WEB 形式は聞き逃したところを再視聴することで内容を確実に把握できるため、大変有効である。
- ・ 数日間に分けて空き時間に視聴できたのが良いと思いました。
- ・ 会場聴講では日程調整がうまくいかない場合、新技術の知識習得の機会がなくなるが、WEB は視聴期間に幅があることで通常業務との調整が行いやすく、知識習得ができることが良好である。

【発表内容について】

- ・ 発注者含め、他社の BIM/CIM 等の取り組みが解り大変勉強になった。また、国土交通省が 2025 年に CIM 原則化を掲げたことで、我々 中小企業も今後は CIM について学習し、積極的に活用すべきだと感じた。
- ・ 三次元化の活用や環境を考慮したコンクリートの活用など、新しい取り組み、開発が進んでいることを改めて実感することができた。
- ・ 今回は新技術（i-con 化）を題材にした内容が多かったように思われる。これからの主流となる先進的な取り組みであり、情報収集および課題について貴重な知見であった。
- ・ 各建設会社や当局の最近の技術的取り組みを知ることができて良かったです。特に AR 技術の現場での利用は驚きました。 デジタル、自動化技術は施工のあり方を変えていくことになりそうだと実感しました。
- ・ 作業員不足が深刻化し、DX 等を進めるような時代に職人的存在も貴重な世の中になってきたなと思いました。

【改善要望】

- ・ WEB 形式は現在の情勢を考えると仕方がないが、会場での開催は発表者のプレゼン能力向上にも繋がるし、競合他社との交流の場ともなる。よって、 受講者が WEB、会場のどちらかを選択できたら良いと思う。
- ・ 視聴期間が2週間程度あり、長いのは良かった。働き方改革の考え方もあるかと思いますが、 土日に視聴できるとなお良い。
- ・ もっと幅広い分野の報告課題があった方がよかった。また、大規模工事の報告課題が多いため、 中小規模の工事も取り入れてほしい。
- ・ 視聴中に電話が掛かってきた時やトイレに行きたい時などに 一時停止ができると良い。また、聞き逃した事やよく分からない事があった時に巻き戻し機能もあると、その後の理解が深まると感じる。
- ・ ある技術の発表のみを視聴したいのに、 プログラムの順番に視聴しなければならなかったところを変更してほしい。（例えば、①受講者が自由に選択し、受講数に応じた受講証明を発行。②半分以上の視聴を原則とし、視聴する技術は自分で選択可能にするなど）

「令和３年度 建設技術報告会」運営スケジュール

	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	備考
実行委員会等																
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会（運営委員会）			● 3/10(水)													
実行委員会開催（会議資料作成等）				●会計監査（R2） 4/15(木)	名簿確認／資料作成	●第1回実行委員会（書面表決） 6/23(水)～30(水) ●書面表決結果及びご意見に対する回答 7/7(水)						資料作成	●第2回実行委員会（書面表決） 2/9(水)～17(木)	●会計監査（3月下旬）		
協議・決定事項等					規約、実施計画、予算の協議・承認								実施結果報告、決算（案）報告承認			
報告技術募集及び原稿作成等																
各案内用チラシ原稿作成					報告技術募集用						聴講募集用					
ホームページ開設・運営					HP作成	報告技術募集 7/7(水)～8/3(火)						聴講募集 12/2(木)～1/11(火)			●開催結果 3月中旬	
報告技術募集（取りまとめ：各主催機関）						報告技術募集 7/7(水)～8/3(火)	※事務局提出：8/4(水)									
報告技術検討・選定 事務局案 実行委員確認							報告技術検討・選定 8/5(木)～8/23(月)	事務局案 各委員確認・意見：8/24(火)～27(金) 事務局案修正版送付：8/30(月)								
採否通知送付（事務局）							8/31(火)									
報告論文原稿作成・提出（報告技術発表者）								報告論文作成 8/31(火)～9/30(木)								
技術報告ビデオ作成・提出（報告技術発表者）								技術報告ビデオ作成 8/31(火)～11/19(金)								
聴講募集（オンデマンド配信サイトより申し込む）												聴講募集 12/2(木)～1/11(火)				
報告論文集（PDF）作成 （北技HP・配信サイト掲載）										報文集確認・校正		●報文集掲載：12月2日（木）				
その他																
負担金納入								負担金納入（前期） 8/20(金)～9/17(金)							負担金納入（後期） 2/24(木)～3/11(金)	
報道投込み												●報道関係へ投げ込み（聴講募集） 12/9(木)	●報道関係へ投げ込み（開催案内） 1/5(水)			
CPDSプログラム登録申請											●申請・承認 11/24(水)、25(木)					
オンデマンド配信システム構築							オンデマンド配信システム構築									
建設技術報告会開催													★ 報文発表1/12(水)～1/25(火)			